

地元産木材「西川材」の間伐材を利用 「飛沫感染防止板」用スタンドを飯能市役所窓口などに設置

埼玉県飯能市は、地元の特産木材「西川材」の間伐材を利用した、新型コロナウイルス感染症などの「飛沫感染防止板」用のスタンドを市役所窓口などに設置しました。



西川材の間伐材を利用した「飛沫感染防止板」用スタンドについて <https://as-hanno.s3.amazonaws.com/at/193066dc92c1b.pdf>

西川材は、飯能市を中心とする西川林業地で生育する埼玉県産の優良木材で、長い伝統と林業者の強い愛林思想、丁寧な育林作業に支えられ、材の色、艶がよく、年輪が緻密で節の少ない良質な材として人気があります。

西川材の間伐材を利用した「飛沫感染防止板」用スタンドには縦横に「差し込み補装」が施され、仕切り板の厚さの変化に対応することができるほか、積み重ねることで簡単に高さを調整でき、書類の受け渡しも容易です。また、塗料を一切使用していないため、自然な木の香りが漂います。

飯能市は「飛沫感染防止板」用スタンドとアクリル板を組み合わせた「飛沫感染防止板」を飯能市役所内の窓口などに設置し、窓口対応の際のウイルス飛沫感染防止に努めます。

西川材の間伐材を利用した「飛沫感染防止板」用スタンド概要

材質： ヒノキ（飯能市産）

サイズ： 幅145mm × 奥行105mm × 高さ70mm

制作者： NPO 法人西川・森の市場（西川バウム合同会社）

この件に関するお問い合わせ

飯能市 産業環境部 森林づくり推進課

電話/042-978-5061 FAX/042-974-6737 E-mail/shinrin@city.hanno.lg.jp